



《食を通して絆を深めようー私たちは力強い復興を応援します》

東日本大震災に被災されました皆様には、謹んでお見舞いを申し上げます。私たちも1日も早い復興に少しでもお役にたちたいと思っております。

ホビーッキングフェア2011では、《食を通して絆を深めようー私たちは力強い復興を応援します》をメッセージ掲げ、食を通じた応援をさせていただきます。

●「復興応援お米販売コーナー」の設置

関東の食の大産地であった東北の農業が大きな打撃を受けました。私達の主食である美味しいお米をいただける幸せ、「いただきます」「ごちそうさま」の気持ちを込めて「復興応援お米販売コーナー」を設けます。

『岩手、宮城、福島 22年産米販売』特設コーナー

岩手県、宮城県、福島県産のお米を、450g入り300円で販売します。売上金は日本赤十字社を通してチャリティさせていただきます。被災地のお米を「買って・食べる」ことで応援します。

『お米作り応援プロジェクト』参加募集

東日本大震災で、宮城県だけで12,000ha余の広大な田圃が被害を受けました。塩害により、これらの田圃は、23年から数年間はお米の作付けはできません。約60%は宮城県内の他地区が、そして残りは他県で肩代わり作付けすることになります。私たちはこの絆を応援する「お米づくり応援プロジェクト」参加者を募集いたします。1口5,000円でプロジェクトに、ご参加いただきますと、今年秋（10月頃）に「平成23年産JAふるかわ環境保全米・ひとめぼれ」5Kgの新米が届けられます。併せて、特製トートバックをプレゼント致します。皆様から頂きました参加費は、全農宮城県本部を通して宮城県の農業復興に役立たせていただきます。

●スペシャル応援トークショー

食のライブスクエアで西麻布「分とく山」総料理長の野崎洋光氏（福島県出身）のスペシャルトークショーを行います。野崎氏は、お忙しい中、震災後は休日を利用して炊き出しに出かけられ、食で被災地の皆様を元気づけておられ



ます。ホビークッキングフェアでの復興応援の趣旨にご賛同いただき、駆けつけていただけることになりました。

日時：4月28日（木） 13:30～14:45

場所：ホビークッキングフェア会場「食のライブスクエア」

講演テーマ：「笑顔で白いごはんが食べられる幸せ」

●福島、宮城から元気を届けよう！

少しずつライフラインが復旧する中で、被災地に皆さまも復興に向かって活動を始められています。福島県、宮城県の方々と一緒にそれぞれの県産品の紹介・販売ブースを作ります。是非皆様に立ち寄っていただきたいと思えます。

《福島県ブース》

ブース番号：A-20 『がんばります！福島の食』

出展品目：川俣シャモと会津地鶏のカレー、エゴマと大葉のふりかけ

福島が誇る二大地鶏、会津地鶏と川俣シャモは震災後の飼料不足や風評被害に負けずブランドを守り抜くため必死に戦っています。カレーも鶏めしも発売以来の人気商品です。福島県出身の食の達人野崎洋光さんは、最強の応援団として勇気づけてくれます。野崎さん開発の「エゴマと大葉のふりかけ」エゴマは本県が生産量全国一で栄養高く風味良く、大葉の香り高い天然素材のみの逸品です。これらは福島の豊かで多彩な食のほんの一部ですが、県内全ての生産者と送り手の強い想いを伝え、福島の食を応援していただきたいと切にお願いいたします。

《宮城県ブース》

ブース番号：A-21 『これからも東北・宮城の美味しさを！』

出展品目：宮城県産食材の【味噌・調味料・菓子・レトルト食品】

東日本大震災で被災した石巻の【高砂長寿味噌本舗】は、東松島の工場を新たな本拠地として、製造を再開。震災の当日製造し、生き残った商品・スパウトシリーズは、「お手軽クッキングで本気の味」を提案する調味料。併せて、味噌を練りこんだコクのある菓子シリーズも、販売します。さらに、「はらから福祉会」から、国産ミヤギシロメ大豆による【おからかりんとう】や【ずんだ豆入りちょっと辛いラー油】、絶品となってしまった【三陸産・陸前こあみ入りちょっと辛いラー油】など食材王国みやぎの食材による、ヘルシーな美味しさを是非どうぞ！